

認知症とともに生きるまち大賞記念講演会 25 団体・個人に感謝状を贈呈

第8回NHK厚生文化事業団「認知症とともに生きるまち大賞」の受賞を記念し、福祉ジャーナリストの町永俊雄さんによる講演会と、まちづくり活動に貢献した25団体・個人への感謝状贈呈式を行いました。町永さんは「認知症フレンドリーなまちづくりを行っている錦江町は、今後、全国の自治体の手本となるだろう」と本町の取組を評価しました。



講演会には約120人が参加。町永さんは、NHKキャスターとして、経済、暮らし、教育、福祉などの情報番組を担当されていました。

笑顔と優しさいっぱいの子どもたち 認知症当事者と積み木づくりで交流

錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」のメンバーさんが大根占小学校を訪れ、4年生の児童と交流学习を行いました。児童たちは昨年11月に、認知症当事者である丹野智文さんとの交流で認知症についての理解を深めており、笑顔でメンバーの方々と話す場面が見られました。今熊登さんばもっと子どもたちと一緒に活動できる時間があっていいな」と名残惜しそうに語りました。



役場職員で若年性認知症当事者でもある鶴田明さん。毎回、カフェのスタッフとして、メンバーさんのサポートを行っています。



江戸時代に数えて15歳を祝う行事として立春に行われていた元服。当時は成人を祝う行事で、大人としての自覚を深める目的がありました。



将来への決意を新たに 大きな一歩 田代中2年生が立志式

2月4日、かつての「元服」にあたる立志式が田代中学校で行われました。2年生13名が、不撓不屈や有言実行などそれぞれ選んだ言葉に自分を重ね、将来の目標や決意を発表。統合後の新生田代中学校初代校長で、前教育長の畑中清和先生による講演会も行われ、「自信と誇りを持ち、胸を張って人生を歩んでほしい」とエールを送りました。

年長の新地瑛仁さんは「お母さんと一緒に走れて楽しかった。お父さんも途中で応援してくれて嬉しかった。」と話しました。



第40回田代幼稚園・田代こども園 親子ジョギング大会 開催

今年で40回目を迎える親子ジョギング大会が2月15日、田代幼稚園・田代こども園で開催されました。川原畜産管理センター前を出発し、鶴園自治会公民館手前を折り返す約800mのコースを年長児7名と保護者が駆け抜けました。南松園の玄関前では入所者の方々が声援を送り、大会を盛り上げました。

法輪保育園年長の出水田齋奈さんは「いっぱい回して楽しかった。家に帰ったら、ママに見せたい。」と笑顔で話しました。



ワクワクが学びにつながる 第2弾 STEAM 体験教室

未来づくり課がSTEAM JAPANから講師を招き、法輪保育園と田代こども園・田代幼稚園でSTEAM体験教室を行いました。子どもたちは、紙コップと輪ゴムを使って、糸巻きぐるまをつくる課題に挑戦。プロペラ部分を指でぐるぐる回したり、床に置いて走らせたり、糸巻きぐるまの様々な動きに大はしゃぎの子どもたちでした。

今年1年の無病息災を願い 田代地区の伝統「せっがい」開催

「せっがい(鬼火焚き)」は、五穀豊穡や無病息災を願って100年以上前から田代地区で行われている伝統行事です。「季節変わり」が由来となり「せっがい」と呼ばれており、毎年節分の時期に開催されます。鶴園集落では町内外から150人以上が詰めかけ、高さ約12mのやぐらの炎のもと、恒例のお金と豆まきを楽しみました。



「せっがい」で拾ったお金は家に持ち帰らない」という云われから、近くの商店はせっがい帰りの子どもたちで混み合っていました。

5日間で53区間583.2kmを走る県下一周駅伝は、現存する駅伝で世界最長とされています。



県下一周駅伝が5日間にわたり開催 12チームの選手錦江町駆け抜ける

第72回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が、2月15日から19日までの5日間行われました。最終日には根占中学校下を出発し、第1中継所の「にしきの里」を目指す選手たちが錦江町を駆け抜け、沿道からはたくさんの声援が送られました。肝属チームは総合4位の健闘。選手の皆さま、お疲れ様でした。

令和6年度「いい歯で元気番付表」を作成しました。
この番付表は、令和6年度に実施の「いきいき歯ッピ健診」と歯周病検診を受診され、8020、7821、7621、7022、6523 を達成された方々を掲載させていただきました。(今年度から78歳も対象)

西		いい歯で元気番付表		東	
下久留 勝昭 (本町部屋) 大原 トミ子 (東大原部屋) 白川 ハル子 (鳥井戸部屋)		横綱 ハロニロ		小吉 ヒロ子 (上原部屋) 原口 茂夫 (麓部屋) 中原 光男 (早瀬部屋)	
小原 清武 (神川上部屋) 榎本 久美 (半下石部屋) 小園 葉子 (塩屋部屋) 田中 シツ子 (本場部屋) 水原 和俊 (鶴園部屋) 時吉 操 (瀬戸口部屋)		大関 セハニ 大関 セハニ	瀬ノ口 秀逸 (鶴園部屋) 本釜 清文 (旭町部屋) 福留 和文 (山久口部屋) 裾分 茂雄 (鶴園部屋) 中野 恵子 (笠原部屋) 厚ヶ瀬 勝幸 (旭町部屋) 大久保 百合子 (厚ヶ瀬部屋) 神川 ヨシ子 (皆倉部屋)	黒木 祥明 (本場部屋) 青木 哲夫 (半下石部屋) 伊勢 木一郎 (大橋下部屋) 瀬崎 郁夫 (本原部屋) 長瀬 祐子 (鳥井戸部屋) 加藤 順子 (鳥井戸部屋) 稲村 みどり (岩崎部屋) 徳永 浩二 (皆倉部屋) 紫玄 健二 (紫玄部屋)	
前田 久孝 (鳥井戸部屋) 渡瀬 とも子 (厚ヶ瀬部屋) 西久留 たね子 (神川中部屋) 松崎 博子 (鳥井戸部屋) 新坂 幸希 (旭町部屋) 川越 みや子 (麓部屋) 合村 利和 (鳥井戸部屋) 迫 則子 (中園部屋) 前田 よね子 (山北部屋) 野津 広美 (塩屋部屋)		関脇 セロニ	久保 清隆 (宮脇部屋) 永田 充 (上久留部屋) 野間 茂行 (皆倉部屋) 山口 恵子 (鳥井戸部屋) 牛飼 幸美 (神川中部屋) 早瀬 ひと子 (上原部屋) 川越 幸一 (大橋上部屋) 濱 幸ちえみ (神川中部屋)	小結 セハニ 中村 勝巳 (神川上部屋) 櫻井 浩文 (本町部屋) 山川 俊洋 (上原部屋) 瀧田 正 (瀬戸口部屋) 有村 智明 (京町部屋) 野々 幸進 (麓部屋) 山下 信彦 (早瀬部屋) 山ヶ崎 裕子 (神川中部屋)	

3月に閉校を迎える大原小・池田小・宿利原小 閉校記念式典・惜別の会や思い出を語る会を開催

2月8日㊥ 大原小学校



6年町優香さんは「大原小最後の卒業生として、残りの学校生活も仲間と楽しく送っていきたい。大原小学校、今までありがとう。」と児童代表の言葉を述べました。惜別の会では、大原小児童や保護者などによるステージ発表も行われ、会場は笑顔に包まれました。

2月16日㊥ 池田小学校

6年大園菜乃歌さんは「池田小で学んだ『自信と勇気』を胸に、どんな困難があってもあきらめずに前向きに進んでいきたい。」と児童代表の言葉を述べました。卒業生やこれまで池田小に赴任された先生方も駆けつけ、学び舎に感謝と別れを告げました。



3月2日㊥ 宿利原小学校



5年笑喜穂果さんは「祖父や父が卒業した宿利原小を卒業できないのは心残り。でも、4月から新しい友達ができることが楽しみ。」と児童代表の言葉を述べました。思い出を語る会では、児童たちがこの日のために練習したおはら節を披露し、会場を盛り上げました。

祝 百寿

100歳おめでとうございます

これからもお元気で、素敵な笑顔を届けてください。



山ノ口 ノブさん (折小野自治会)
大正14年2月11日生まれ



早瀬 フヂ子さん (鶴戸野自治会)
大正14年2月6日生まれ